

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022 年 2 月 5 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」備前三門校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・利用者さんい合わせた机やエリアの配置をしている。 ・パーティションで区切り、支援ブースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	5			
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		・児に合わせたプログラム提示やエリア、机イスの提供がされている。 ・支援時には所内のドアを閉めることで支援室と相談室を意識することができている。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		・適度に清掃し、ブース内は各指導員が適宜消毒している。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		・事業所内でその都度話し合いながら進められている。 ・担当指導員と自発管が基本ではあるがミーティング内で共有できている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者に評価していただき、意向を把握し、業務改善につなげている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		・HP を見たことがある。また事業所の待つスペースにも手に取れるよう置いてある。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2		外部評価自体は行ってはいないが、保護者と情報を共有して、業務改善につなげている。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		・たくさんあると思う。 ・最低月 1 の研修はあり、事例検討なども行っている。	

適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		・事業所内相談数が増え、客観的に評価する機会や材料も増えた。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		一人一人にあった項目を選択し、支援内容を設定している。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		・どの支援員もよく考えて行っている。 ・計画時から意識できており、支援前にも確認するようにしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		・ミーティングで話をするようにしている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		・担当を順番にしている。 ・反復練習することはあるが、固定化しないようには意識している。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	1		・小集団にはなるが適宜組み合わせで作成している。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1	・よく話をしてくださり、子どもたちもスムーズに進めている。 ・当日の役割分担やお願い事は話しあっている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	・ミーティングで共有している。	・終了後すぐにはとはいかないときもあるが、次の日等できる時にしていく。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		・できるだけその日のうちに記録をとるようにしている。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		・児発管と定期的実施している。	
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		・担当と管理者で参加されているのをよく目にする。 ・担当、児発管、管理者の中からふさわしい者が参画している。	

保護者との連携	②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		・訪問看護などの機関と連携している。	
	③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・担当者会議をよくしている。 ・幼稚園から見学に来られたり行ったりと相互理解や情報共有を図っている。	
	⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		・担当者会議をよくしている。	
	⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		・もっと意識して連携していくようにしたい。
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	3		きらりの特徴的にもあまりニーズ自体がない項目。
	⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3		コロナの影響もあり、頻度は減少している。情報収集を進めていく。
	⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		・フィードバック、電話などで共通理解をもっている。 ・事業所内相談でも情報共有ができています。	
	⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	4	1	・ペアトレの事業所の紹介等を行っている。 ・事業所内相談を活用し、ペアレントトレーニングを行っている。 ・キラカフェを行っている。	
保護者へ	⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		・管理者にお任せしてしまっている。職員全員が説明責任を果たせるように情報共有をおこなっていく。

の 説 明 責 任 等	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		・丁寧に説明するよう心がけ同意を得られている。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		・信頼できるから保護者の方が相談に来られていることが多い。 ・相談があった時には適切に応じることができている。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		・キラ・カフェを実施し、保護者同士の連携を図る機会を設けている。	・少しはあるようだがコロナ時期なのでまだ参加したことはない。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		・様々な所と連携して早期に対応していると思う。	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		・ブログ担当を中心に発信している。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	5		・意識して行動できている。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		・実際に支援を観てもらったり効果のあるツールを自宅でも使ったりできるように用意している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		・地域との関わりがない為、必要があれば企画してく。
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		・月に一度、防災訓練を中心に実施している。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		・月に一度、防災訓練をしている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		・アセスメントシートを把握し、その日の状態などは確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	4	・食事はないので診断書かアセスメントシートの通り。	・飲食を伴う活動は実施していない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		・意識してヒヤリハットを報告し、共有している。	

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		・虐待防止の研修機会があり、参加し考えることで意識できている。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」備前三門校 保護者等数（児童数）：11 回収数：11 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	2	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1	0	0	臨床心理士の方とか居たらいいのかなと思う。	より質の高い支援になるように職員研修を充実させていく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	11	0	0	0	静かで活動しやすそう	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	0	0	パーテーションで区切ってかれており、活動しやすそう	
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	0	0	1	こどもの事を考えて支援内容は設定されていると思う。	
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	0	0	1	子供の実態としてなかなか最後まで療育を受けられないこともあり、どうすればいいか悩んでいる	子どもの支援だけでなく、保護者へのコミュニケーションも大切にしていく。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	0	0	1	娘が飽きないようにいろいろと考えてくださっている様子が伝わってきます。	
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	5		今後保護者の要望が上がる用でしたら検討していく。

保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	1	1	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	9	0	0	0	2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5	1	0	0	4		保護者同士で話ができるキラカフェを継続していく。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	1	1	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	1	0	1	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	0	0	0	2		キラカフェの開催をまたしてほしい。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	1	0	0	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	1	1	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	7	1	0	0	3		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	9	0	0	0	2		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	1	1	1	2		ブログやラインなどで情報発信をしていく。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	1	1	4		ブログやラインなどで情報発信をしていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	1	0	1	0	0	先生と遊ぶのは好きだけど勉強はやらされている感があるように思う。とても楽しみにしている	一緒に考えたり、子どもから取り組みたい課題を提案してもらったりして工夫しながら進めていく。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	1	0	1	0	0	子供の美態として、早く帰ろうと訴えることが多く、時間いっぱい療育を受け入	

						れられると嬉しい。 支援自体にはとても 満足している。	
--	--	--	--	--	--	-----------------------------------	--

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。